

2017年3月15日

参加チーム各位

第30回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会
実行委員長 内田直人

エントリー標準タイムについて

日頃より日本ライフセービング協会（JLA）の大会運営にご協力いただき感謝いたします。
第30回大会のエントリー標準タイムは以下の通りです。エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示し、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイムを突破していることが条件です。また、エントリー標準タイムは、「当該種目と同様の競技形式」ですのでご注意ください。エントリー標準タイムを設定することにより、大会運営上、選手や競技役員への負担が軽減されるとともに、全日本選手権として競技レベルの向上が期待されます。

■第30回（平成29年度）全日本プール競技選手権のエントリー標準タイム

<種目別エントリー標準タイム> ※表記は（分）：（秒）.（100分の1秒）

種目（個人種目のみ）	エントリー標準タイム	
	男子	女子
200m 障害物スイム	2:40.00	3:10.00
50m マネキンキャリー	50.00	1:00.00
100m レスキューメドレー	1:30.00	2:00.00
100m マネキンキャリー・ウィズフィン	1:20.00	1:40.00
100m マネキントウ・ウィズフィン	1:20.00	1:30.00
200m スーパーライフセーバー	3:00.00	3:30.00

<注意>

1. チーム種目および特別種目にはエントリー標準タイムを設けません。
2. 過去のJLA主催または公認大会の記録を申告する場合は、過去5年以内の大会の記録であれば認められます。
3. エントリー標準タイムを突破しているか否かについては、自己申告とします。JLAの過去の主催または公認大会の記録以外、たとえばクラブの練習会などで測定した記録も認められます。エントリーの際のタイム申告は、組（ヒート）を決定するための資料としますので慎重に申告してください。
4. エントリーの際、申告タイムは100分の1までのタイムを記入してください。
5. 虚偽の申請をした場合、大会の記録がエントリー標準タイムから著しく遅い場合、審判長の判断により競技者本人およびクラブ代表者に対して処分を検討することがありますので注意してください。

以上